

平成19年度 事務事業評価表		担当	産業環境部 産業振興課			内線等	1222
事務事業名	林道維持整備事業				事業コード	3. 建設事業(ハード事業)	
根拠法令等					Eなし		

総合計画での位置付け

基本目標	5. にぎわいと活力あふれるまちづくり	施策名	農林業
------	---------------------	-----	-----

事務事業の内容

対象(受益者)	林業従事者と住民に対して
手 段	林道の維持管理をすることによって
想定する成果	林道施設の適切な状態を維持し、林道の保全と環境の向上を図る。

事業の概要

項 目	平成18年度実績	平成19年度実績	平成20年度計画
事業内容	維持管理業務 L= 15km A= 32千㎡	維持管理業務 L= 15km A= 32千㎡	維持管理業務 L= 15km A= 32千㎡
	小規模工事 4箇所	小規模工事 6箇所	小規模工事 5箇所
	舗装小規模工事 1箇所	舗装小規模工事 1箇所	舗装小規模工事 1箇所

成果指標

成果指標名	林道維持管理業務実施率	林道総延長
成果指標の説明	林道草刈実施面積 / 林道草刈総面積 × 100	林道総延長

事業の進捗状況 (一般 会計) (単位：千円)

		平成18年度決算(実績)				平成19年度決算(実績)				平成20年度予算(計画)			
成果指標		44.40%				44.40%				-			
成果指標		28,653.7m				28,654.7m				-			
事業費	事業費	5,383				5,061				7,500			
	人件費	5,625				2,413				2,387			
	(人数)	正規	0.7	非常勤		正規	0.3	非常勤		正規	0.3	非常勤	
	合計	11,008				7,474				9,887			
財源内訳	国												
	県												
	市債												
	その他												
	一般財源	11,008				7,474				9,887			

事務事業内容の評価

項目	課内評価		部長評価		評価の説明(問題点)
	19評価	16評価	19評価	16評価	
達成度	2	2	2	2	林道の通行、森林の作業に支障の無い程度に管理された。
経済効率性	2	2	2	2	維持整備等が施工され林道施設の延命が図れる。草刈、枝払い等軽微な作業は地域住民(受益者)により実施されるのが望ましい
事務効率性	2	2	2	2	事業に対して地域住民(総代等)と連携を取り、投入された職員で効率的に実施している
必要性	2	2	1	2	林業従事者及び市民が利用する林道であり、維持管理は市及び利用者が行うべきである。
小計	8	8	7	8	
施策への貢献度	2	-	2	-	
合計	10	8	9	8	

達成度等各項目は、0～3点までの4段階評価

総合評価	B	B	B	B	林業経済の衰退及び林業従事者の高齢化により林道の草刈等の環境整備及び軽微な補修は期待出来なくなりつつある。林道の必要性を考慮し維持管理のために林業者、市民、市等が連携を取って事業を進める必要がある。
------	---	---	---	---	---

総合評価は、A～Dまでの4段階評価

前回(H16評価時)「今後改善すべき点」として記載した内容及びその実施状況

<p>前回(H16評価時に)記載した「今後改善すべき点」</p> <p>林道は林業者が作業用に主として利用するものであるが、従事者の高齢化及び林業経済の衰退が進み維持管理が行われ無くなって来ている。又近辺市民の利用は年々増え続けている。維持管理に関して受益の公平性を確保するため、地域住民及び林業者(受益者)が林道の草刈及び法面保全等の環境整備及び軽微な補修は、利用者・総代区等で施工し林道の保全と環境の向上を確保していく必要がある。</p> <p>上記改善点の実施状況</p> <p>市が行うパトロールに加えて、林業者、地元(地区総代)の危険箇所通報などで、逐次整備を進めている。</p>

今後さらに改善すべき点

担い手の減少、林業経済の衰退による林業者への負担を減らすため、市及び地域との連携を密にし林道の維持管理を行い施設の延命を図っていく。
--

平成21年度予算に反映する項目

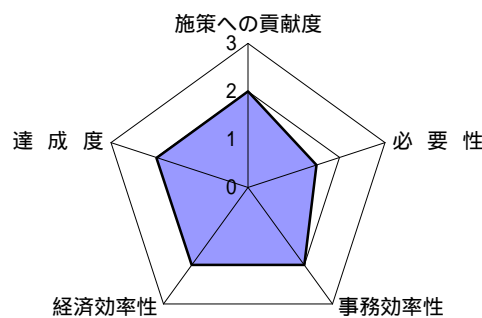
--

今後の方向性

現状維持

【各部長は、部長評価欄の採点部分だけを記載】

内部管理事務事業、義務的的事业は必要性を、また施策名がその他のものは施策への貢献度を評価していません。



課内評価と部長評価の平均点